

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月15日

協議会名: 那須塩原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)	系統名: 西那須野線(黒磯線乗入黒磯駅直通) (西那須野駅～那須塩原駅～黒磯駅)	・鉄道との接続等のダイヤ見直し ・効果的なPRの実施 ・近隣市町との運行ダイヤの調整	A	適切に実施した	C ・目標 キロ当たり輸送人員【目標】4.1人→【実績】3.9人(令和6年度実績:3.8人) ・目標を達成できなかった理由 令和6年度との通学定期券の発売枚数の伸び率が-1.3%と伸び悩みの傾向ある。しかし、通勤定期券の伸び率が1.5%と伸びていることから、一般利用者の移動手段が増加傾向にあると推測されます。全体の伸びとしては目標値に届かず、今後の課題となっている。	新幹線からの接続を改善し、新たな乗客の確保を図るとともに、近隣市町のバスとも運行ダイヤを調整することで、乗り継ぎ時間の短縮を図る。 また、近隣市町のバスと共通定期券等の対象券種の拡大の検討を進め、通院・買い物利用だけでなく、市域を跨ぐ通勤・通学の生活交通としての機能を強化し、近隣市町と協力して相互に利用者数を増加させて、収支率の改善に努める。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、設定した目標を大きく下回る結果となった。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・引き続き鉄道や近隣市町のバスとの接続を考慮し、効果的な利用者利便の向上が図られることを期待したい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。					
第三者評価委員会における 各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。					